

## 天使病院産婦人科の新規患者受け入れ制限の経緯について

2017年6月より突然天使病院において産科の診療を大幅に制限する事態を招き関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしたことを、まずは心よりお詫び申し上げます。その後、1日も早い産婦人科の診療体制回復をめざし協議を重ねて参りました。そしてこの度、一般社団法人 WIND（北海道大学産婦人科医局、以下 WIND）のご理解、ご支援を賜り、退職意向の医師の慰留が叶い、多少縮小は致しますが産婦人科診療体制が維持されるに至りましたことをご報告申し上げます。同時に、このような事態に至った経緯について法人としてここにご説明申し上げます。

天使病院産婦人科は古くからの一般社団法人 WIND（北大産婦人科医局）の関連病院です。今年4月の時点では産婦人科医10名中6名が WIND に所属する医師でした。（専門医に限ると5名中4名）

社会医療法人母恋は室蘭の日鋼記念病院を母体とする医療法人で天使病院は2003年に社会福祉法人聖母会から移譲されました。天使病院は新病院建設などに伴い分娩数は年間700件台から1200件台まで増加しました。しかしながら二年程前より医師数が減少したため分娩制限を実施せざるを得なくなりましたがそれでも昨年度は約1000件の分娩数で順調に運営されていました。

昨年秋頃より社会医療法人母恋の理事長（当時、以下「理事長」）と常務理事（当時、以下「常務理事」）は独断で、これまで天使病院産婦人科診療の充実に大きく貢献してきた産婦人科の2名の責任者に全く内密に別の病院に勤務する WIND 所属の産婦人科医の引き抜きを図りました。またこのことは道内の産婦人科体制の調整を行っている WIND にも相談せずに行われました。

両人はこの引き抜き行為は産婦人科医の増員を目的としていたと釈明しましたが、道内では慢性的な産婦人科医師不足が続いていて今春の人事異動でも多くの関連病院で勤務医師が減っており、客観的に天使病院の増員が認められる状況では全くありませんでした。

天使病院内では6月1日に人事担当でもあった産婦人科副院長（当時、以下「副院長」）が、このような引き抜き行為が全く知らされないまま行われたことによって法人との信頼関係が失われたと判断し定年延長を希望せずそのまま退職すると表明したことで問題が表面化しました。その後、理事長・常務理事と副院長、産婦人科主任科長との間で話し合いの場が持たれましたが法人トップに産婦人科医師との信頼関係を回復しようとの誠実な姿勢が認められなかったために主任科長も6月12日に不本意ながら辞意を表明しました。産婦人科はチームで運営されており二人が同時に辞めると現在の機能は維持できなくなること、その他の産婦人科医も今回のいきさつを知るにつれほぼ全員が退職を希望したことなどから病院としては新規分娩予約の中止と8月中旬以降の分娩予約患者の他院への紹介などをせざるを得ないと判断しました。

この方針は6月14日に WIND 執行部、理事長、天使病院産婦人科医などで持たれた話し合いの場でも確認され、理事長もこれに同意しました。

その結果、当院に分娩予約をしていただいていた患者さんに突然、転院を要請せざるを得なくなりました。大変なご不安とご迷惑をおかけしたこと、また転院希望の患者さんを受け入れていただいた周辺病院の皆様にも多大なご迷惑をおかけしたことを、天使病院を開設、運営している社会医療法人母恋として深くお詫びします。

実際に皆様を他院へご紹介するため、医師、助産師、看護師、事務スタッフなど対応に当たった職員は、自身の使命と責任を果たせず皆様に裏切ってしまったと今もなお非常に心を痛めております。この場をお借りして彼らの謝罪の意をお伝えします。

今回の引き抜き行為は理事会には全く報告がなかったとはいえ法人としては責任を痛感しており、今後このようなことが起こらないように留意し、病院と現場医師との信頼回復を誠実に図り、WIND 及び道内の他医療機関と協調して社会への良質な医療提供に全力を尽くすことを誓います。

今般の混乱の原因は理事長、常務理事にあり、地域医療と法人経営に与えた多大な影響に対する責任を取り、7月31日付で常務理事、8月23日付で理事長が退任いたしました。また、法人として改めて慰留に努めた結果、産婦人科医師数は減少しますが、新理事長のもと新たな体制で10月2日より分娩予約を再開し、WIND のご支援をいただきながら産婦人科の診療機能の回復を図ることになりました。

今般の問題発生に対し、法人として改めて関係者の皆さまにお詫び申し上げますとともに、周産期医療の維持、天使病院の信頼回復、ならび産婦人科診療の機能回復に一段のご支援ご助力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 29 年 10 月 2 日

社会医療法人 母恋  
理事長 飯塚 進